

なんだ・かんだ

◆ 日本のものづくり ◆

先日の新聞に、米調査会社 JD パワー・アンド・アソシエツが毎年行っているアメリカの新車品質ランキングについて掲載されていました。この調査は、その年に購入又はリースした車を対象に、乗り始めから90日以内に発生した不具合の数を調べ、100台当たりの件数が少ない順にランク付けしたものです。

過去この調査でトヨタの「レクサス」は、2009年まで15年連続のトップで、その後2010年は「ボルシェ」にトップの座を奪われましたが、2011年・2012年は2連続でトップに返り咲いています。

しかし、今年度は日本勢が大きく順位を落としました。日産の「インフィニティー」の5位が最高で、昨年3位だったトヨタの「レクサス」はまさかの9位に沈んでしまいました。

今年の日本ブランドの平均は114件と全体の平均の112件より多く、これは調査を実施している29年間で初めてのことでそうです。他の日本ブランドは「トヨタ」が10位、「ホンダ」が14位、「日産」が20位、「マツダ」が23位などでした。総合の首位は3年連続でドイツの高級車「ボルシェ」、2位は韓国の「起亜」で昨年の6位から急浮上しています。そして3位がイギリスの高級車「ジャガー」、4位が昨年に引き続き韓国の「現代」でした。今年度は韓国勢が躍進した年でした。

また、こんな記事も出ていました。米アップルのiPhoneの生産台数は月産1000万台に対し、日本製スマホは10万台以下の水準にとどまっている。一方「iPhone」の部品の5割以上は日本製。iPhone向けに部品を供給するメーカーは、納入価格を世界最低価格とすることが取引条件でとされ、一度アップルに部品を供給すれば、下請工場となったも同然である。

かつて、ウォークマンで一世を風靡したソニーもイメージセンサーで世界の4割のシェアを持ち、ソニーから部品供給を受けられなければスマホが製造できないとまで言われていますが、完成品でのシェアでは3~4%程度と、部品屋になってしまっています。

ジェット旅客機においても米ボーイングやフランスエアバスでも日本製のジェットエンジンやその他の機体の一部、そしてカーボンファイバーなどの素材もやはり日本製品が多く使われています。しかし、国産ジェットのMRJ(三菱リージョナルジェット)はなかなか市場にお目見えしてきません。

日本はものづくりの大国と言われて久しいですが、その技術力が低下し、更に製品を生み出す力が薄れているのでしょうか。現在の状況が浸透すれば日本は世界の下請け工場になってしまうのではないのでしょうか。たいへん危惧しています。

しかしダメな話ばかりではありません。冒頭の調査は初期不良に対するものですが、アメリカの今年度の自動車耐久性満足度調査では「レクサス」が4年連続ぶつちぎりの1位、「トヨタ」が3位、「ホンダ」が5位だそうです。

また、次世代自動車の生産台数で、HV車は、トヨタ、ホンダが1位・2位、電気自動車の生産販売台数は日産「リーフ」が1位、トヨタ「プリウスのプラグインハイブリッド」が3位。

そして、世界に先駆けて、トヨタが燃料電池車を発売!!
日本のものづくり、まだまだ捨てたものではありません。
ガンバレ日本\(^)/



■ 夏期休暇のお知らせ ■

夏期休暇：8月12日(水)から8月16日(日)まで5日間を夏期休暇とさせていただきます。

今年は、各メーカー様は8月8日から16日に掛けましてお休みとされる会社が多いと思われます。お客様の生産に支障を来さぬように対応していくつもりですが、万一の場合もございまして、直接生産に関わる製品につきましては、生産計画をご確認の上、弊社担当とお話していただきまして、メーカー休暇中の製品供給の確認をしていただきたいと思います。

ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

熱中症に気をつけて

梅雨明けしたとたん、太陽がこれまでの鬱憤を晴らすかのように燦々と照りつけて連日大変暑い日が続いています。一方台風も続々とやってきて西日本を中心に大雨を降らしています。新しい気象衛星ひまわりが稼働したせいでしょうか、私の携帯には市内の豪雨注意報が毎日何通も入ってきます。今年も不安定な天気が、記録的な暑さや記録的な豪雨が日本列島を襲うのでしょうか。気をつけなければなりません。

そんな中、梅雨が明ける少し前の週末、久しぶりに晴れた中で、町内の海岸清掃が行われました。毎年この時期に行われるのですが、今年は息子と二人で参加しました。朝8時から1時間ほどゴミ拾いをして帰ったのですが、その後30分ほどして急に気分が悪くなり、遂には嘔吐してしまいました。その後何も食べる事ができず、丸一日寝込んでしまいました。これが熱中症だったのでしょうか。晴れていたとは言えそれ程暑かったわけでもなく、すごく汗をかいたわけでもなく、疲れが溜まっていたり、多少体力が落ちていたのかもかもしれませんが、いきなりのことでした。

熱中症の怖さを実感しました。分かっていることも罹ってしまうことがあります。皆様もお気をつけください。

代表取締役 服部 敬一郎

社員ブログ

● お互いに気遣いを ● 営業部 清博司

前回このブログに書かせて頂いた当時高校3年生の長男ですが、現在大学生になり、運転免許もとることが出来ました。

週末になると、妻の買い物に運転手として付き合い、隣に自分が乗り教官の如く「停止箇所が悪い」とか「車線変更のタイミングが悪い」などアドバイスをしていますが、まさか自分が子供の運転する車に乗るようになるとは歳を取ったということでしょうか。

さて運転中に息子がよく言うのが「自転車や原付が危なっかしい」という事です。確かに運転していると、車道を2台並んで走っていたり、細い道で角から急に飛び出して来たり、逆走しながら電柱を避ける為に膨らんで来たりと数えきれない位遭遇します。

息子は「向こう(自転車)が逆走してるのに、こっち(車)が譲らないと駄目なんておかしい。」と怒っていますが自分も自転車通学しているので「(自転車で)走っているとどうしようもない所もあるんだよな。」と擁護したりもします。

6月1日より道交法の改正があり、自転車に対する罰則が強化されました。逆走などは前々回の改正時に違反行為になりましたが、あまり認知されていなかったと思います。今回罰則の強化が色々なメディア等で紹介されて多くの方が自転車の運転について考える良い機会になったのではと思います。自動車側も自転車側もお互いを気遣って運転して頂けたらと思います。



本レターのご提供に付きまして、ご不要・ご迷惑という方に付きましては、その旨ご一報頂きたいと思っております。次回からの発送を中止させていただきます。

株式会社チキリ
静岡県駿東郡清水町卸団地73
Tel 055-971-9610 Fax 055-973-1534
E-mail gen@chikiri.com URL http://www.chikiri.com/